「#県西ウォーキング」でSNSに写真や感想をアップしよう♪

城山ハイキングコース

石橋山合戦前後の源頼朝の足跡をたどり、景勝をめぐろう!

アクセス

Sスタート JR東海道線「湯河原駅」

Gゴール JR東海道線「湯河原駅」

※コース詳細は湯河原町及び湯河原温泉公式観光サイトのホームページをご参照ください。

※湯河原町▶ ※湯河原温泉公式観光サイト▶

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
13.2km	3時間58分	755kcal

高低差	歩　数
582.2m	17,579歩

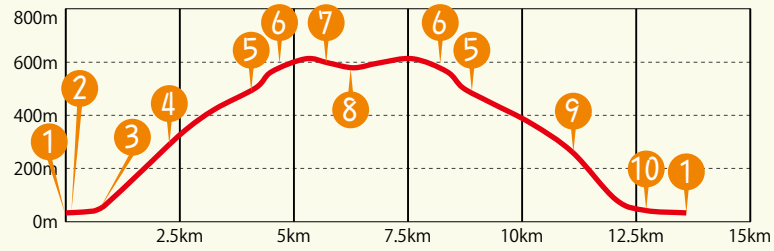
コースの魅力

【花木】椿台（椿：2月中旬～4月上旬／見ごろは3月）

【景観】城山山頂、椿台　【歴史】城願寺（源頼朝七騎堂、天然記念物びゃくしん、土肥一族の墓）、土肥城跡の石碑、弘法大師群像、しとどの窟、五所神社

1 湯河原駅 ▶3分▶ 2 城堀（JRガード下） ▶5分▶ 3 城願寺 ▶30分▶ 4 浅間神社 ▶25分▶ 5 ピクニックグラウンド・宮下林道終点 ▶10分▶ 6 城山山頂（土肥城跡） ▶30分▶ 7 椿台 ▶15分▶ 8 しとどの窟 ▶45分▶ 6 城山山頂（土肥城跡） ▶10分▶ 5 ピクニックグラウンド・宮下林道終点 ▶30分▶ 9 宮下林道始点（門） ▶20分▶ 10 五所神社 ▶10分▶ 1 湯河原駅

標高グラフ



コースの概要

湯河原が土肥郷と呼ばれていた時代の史跡をたどり、眺望も楽しめるコースです。源頼朝主従七騎の一人、土肥実平の菩提寺である「城願寺」や城山山頂の「土肥城跡」、敗戦した頼朝が潜伏したとされる「しとどの窟」などの史跡をめぐります。城山山頂からの眺めは素晴らしく、晴れた日には相模灘はもとより伊豆半島、初島、大島まで一望できます。

兜石

石橋山の戦いで敗れた頼朝が山中を逃げる途中、休息を取るために兜を脱いで置いたと言われる石。

展望スポット「城山山頂・椿台」

城山山頂

標高は低いながら眺望は抜群、晴れた日には360度のパノラマが楽しめます。頂上は広場になっており、あじさいに囲まれた「土肥城跡」の石碑やあずまやがあります。お弁当を広げてゆっくり休憩するのにおすすめの場所です。

椿台

奥湯河原温泉と大観山を結ぶ椿ラインの中ほどにあり、北には箱根外輪山の深い山並みを、南には湯河原の街並みを望むことができます。

※歩行時間は、湯河原町のデータを参照。　※歩行距離、高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。（元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています）。　※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和７年２月現在のものです。

城山ハイキングコース

ウォーキングMAP

ジオサイト

8 しとどの窟

湯河原町の城山の北西にある源頼朝ゆかりの史跡です。1180年に石橋山合戦で平家に敗れた源頼朝がこの地にあった窟に身を隠したといわれた場所です。しとどの窟周辺は箱根外輪山の溶岩と火山砕屑物からできており、窟は火山砕屑物の部分が削れてできた洞です。

鎌倉幕府開運街道 トリプルパワースポット

鎌倉幕府を開いた源頼朝が、挙兵し関東の源氏をまとめて平家を打ち破ります。その過程で頼朝や実平の強運や湯河原パワーの相乗効果で命を救われたと云われています。その顕在化したパワーが楠木(くすのき)パワー・柏槙(びゃくしん)パワー・幕岩(まくいわ)パワーの湯河原トリプルパワースポットと云われております。

ジオサイト

3 城願寺

城願寺境内の天然記念物「びゃくしん」の木

源頼朝が運試しに投げたという「立石」

ルールとアドバイス

1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
4 水分の補給をこまめにしましょう
5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましょう
6 山の天気は急変するので、レインウエアを持っていきましょう

ジオサイトって？

箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりで楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

ひと足のばして 奥湯河原の地質を楽しもう！

ジオサイト

日帰り温泉施設 こごめの湯

自然あふれる湯河原の源泉が楽しめます。森の香りに包まれた露天風呂のやさしい泉質は体を芯から温めます。ファンゴ施術室やマッサージ室もあります。

【住】足柄下郡湯河原町宮上562-6 【電】0465-63-6944
【営】9:00～21:00 【入】大人1,100円 小・中学生600円
【休】月(月が祝日の場合は翌日)

不動滝

湯河原町奥湯河原にある落差15mの滝です。滝をつくる崖は、湯河原火山をつくる約40～25万年前に噴出した溶岩や凝灰岩などでできています。滝周辺の岩石には、沸石と呼ばれる白色の鉱物が見られます。この場所で発見された沸石には、湯河原の地名がついた湯河原沸石があります。滝の左側には身代わり不動尊、右側には出世大黒尊が祭られています。

発行：神奈川県県西地域県政総合センター商工観光課
令和７年３月発行 電話(0465)32-8908